

第10回記念パネルディスカッション

10月26日(火)に、花博記念ホールにてみどりのまちづくり賞の表彰式が開催されました。みどりのまちづくり賞が第10回という節目を迎えたということで、これまでの総括も含めた「第10回記念パネルディスカッション」が、表彰式の後に同会場で開催されました。

「第10回記念パネルディスカッション」では、まず増田昇審査委員長による『みどりのまちづくり賞10回を振りかえって』という題目で基調講演がありました。基調講演では、ランドスケープの歴史や役割についての説明があり、歴代の受賞作品を振り返りながら、各部門の傾向などを分析されていました。

その後、過去の受賞者とのパネルディスカッションが、第1部ランドスケープデザイン部門、第2部ランドスケープマネジメント部門で行われました。それぞれの受賞者による作品紹介と、増田審査委員長がコーディネーターの意見交換会が行われました。パネルディスカッションの内容を下記に簡単に紹介します。

■パネルディスカッション（デザイン部門）について

『パネラー』受賞者：西辻氏（現代ランドスケープ）、國本氏（㈱竹中工務店大阪本店設計部）、小松氏（㈲建設都市部門都市デザイングループ）
審査委員：當内氏（庭園代表取締役）、仲氏（京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科教授）

受賞者による作品紹介を通じながら、周辺で暮らす人に楽しんでもらう空間を目指すことや、設計のプロセスにその場を使う人に参加してもらって主体性の意識を醸成することなど、使う人を意識する大切さについて意見が交わされました。また、次の空間つくりに向けて、その場にあるものを活かすことや、効果を周辺に広げていくことが大切だという意見も出ていました。審査委員の方からは、メンテナンスがランドスケープの本質であり、色んな人が関わることで人と自然が繋がる、まさに「造縁」だという話もありました。

最後には、ランドスケープを通じて、まちと周辺環境が繋がり、地域が魅力的になっていくということで、まちづくりにおけるランドスケープの重要性について考える言葉で締めくられました。

■パネルディスカッション（マネジメント部門）について

『パネラー』受賞者：岡崎氏（南海電鉄㈱不動産営業本部不動産部）、児玉氏（ガーデンシティコーポ金剛東すみれ会）、中島氏（長池アソシエーション副会長）
審査委員：弘本氏（大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所 特任研究員）、松本氏（大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 助教）

マネジメント部門では、主にコミュニケーションや活動を続けていくための工夫などについて意見が交わされました。コミュニケーションでは、花の写真撮影や花の名前・育て方についての質問など、花が媒介となって交流が生まれ出されていることが各活動で共通していました。活動を継続していくためには、好きな花を好きな時間に管理できるなど自由が担保されていることや、常に自分のものとして管理していること、変化に気づくこと、活動の中に楽しさがあることが大切だという意見が出ていました。また、会話を生まることで、参加者や見に来られる方がイキイキしたり、花を見て笑顔になるのを見るのがやりがいになっているという意見もありました。

「与えられたものではなく、自分たちで育ててきたからこそ愛着が生まれる。」「1人称のまちづくりが継続において大きな意味があり、マネジメントはクリエイティブと楽しげが次の展開に繋がる。」といった言葉で締めくられました。



▲第10回まち賞受賞者と審査委員の記念集合写真

編集・構成 友國 慎也

一般社団法人 ランドスケープコンサルタント協会 関西支部

私たち、自然や緑と一体となった
環境づくりに携わる職能団体です。

正会員	(50音順) 24社	連絡先電話番号
㈱ 荒木 造園設計	072)761-8874	㈱ 辻本智子環境デザイン研究所 (0799)72-0216
㈱ 荒谷建設コンサルタント	082)292-5481	㈱ 中根庭園研究所 (075)465-2373
㈱ エス・イー・エヌ環境計画室	06)6373-4117	㈱ ニュージェック (06)6374-4032
㈱ オオバ大阪支店	06)6228-1354	復建調査設計 ㈱ (082)506-1853
環境設計	06)6261-2144	ハシフィックコンサルタント㈱ 大阪本社 (06)4799-7311
㈱ 環境緑地設計研究所	078)392-1701	㈱ ヘッズ (06)6373-9369
㈱ 環研研究所	06)6306-2481	㈱ LAT環境クリエイト (082)273-2605
キタイ設計	0748)46-2336	㈱ リアライズ造園設計事務所 (06)6941-1151
㈱ 空間創研	075)823-6331	㈱ 緑景 (06)6763-7167
㈱ 現代ランドスケープ	06)6203-1270	贊助会員 (50音順) 1社
㈱ 公園マネジメント研究所	06)6947-6522	花豊造園 ㈱ (075)341-2246
㈱ スペースビジョン研究所	06)6942-6569	
㈱ 総合計画機構	06)6942-1877	
㈱ 地域計画建築研究所 大阪事務所	06)6205-3600	
㈱ 地球号	06)6945-7566	

協力会社 (28社)	下記の各社より、支部活動にご協力を頂いています。		
公園施設	12社	連絡先電話番号	舗装資材
㈱ アボック社	06)6942-8466	㈱ 佐藤渡辺近畿支店 (06)6356-3388	4社
上屋敷工業	0776)56-2310	太平洋ブレコン工業 大阪支店 (06)6344-6212	
㈱ コトブキ	06)4801-8265	太陽エコプロックス㈱ (06)6466-6751	
ザイエンス	06)439-4413	日本興業㈱ 関西支店 (06)7173-2790	
ササイ	092)925-9858		
サカエ西日本支店	06)6325-2288	緑化資材	3社
タカオ㈱ 大阪営業所	06)6397-5266	グローベン㈱ 関西営業所 (079)878-6070	
タクシードーム	072)986-1880	東邦レオ㈱ (06)6767-1110	
中村製作所	047)330-1111	㈱ 虎ノ門コボレーション (0725)32-0834	
日本トップ工業	06)6769-6212	石材	1社
ラスコジャパン	0794)86-0081	中村石材工業 ㈱ (06)6571-1206	
H.O.C(エッチ・オー・シー)	06)6395-2247	施工	1社
		㈱ 楠祥建設 (0794)89-8288	
管理施設	1社	照明	1社
朝日スチール工業	06)6244-1910	大光電機 ㈱ (06)6222-6260	
水景施設	4社	印刷	1社
㈱ アクアブルラン	06)6969-5831	㈱ ダイビス (06)6312-6451	
ウオーン	072)870-4764		
宇都宮製作所	06)6494-8997		
日之出水道機器	06)6446-2687		

事務局 〒530-0014
大阪市北区鶴野町4-11-1106
TEL:06-6373-4117 FAX:06-6373-4617

編集人 関西支部広報委員
委員長：庄田隆久
副委員長：増田将典
編集委員：福田祥子 中井莉子
友國慎也 小野隆

発行人 一般社団法人
ランドスケープコンサルタント協会 関西支部
関西支部長 西辻俊明

印 刷 (株)ダイビス
発行 一般社団法人
ランドスケープコンサルタント協会 関西支部
<http://www.cla-kansai.jp>



発行：ランドスケープコンサルタント協会関西支部
<http://www.cla-kansai.jp>

第10回 みどりのまちづくり賞（大阪ランドスケープ賞）

【主催】大阪府/公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会/
一般社団法人ランドスケープコンサルタント協会関西支部



賞の主旨

みどりのまちづくり賞は、「みどりの風を感じる大都市・大阪」を推進する大阪府、「自然と人間との共生」を掲げる公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、並びに「魅力豊かなランドスケープデザインとマネジメント」を目指す一般社団法人ランドスケープコンサルタント協会関西支部の3者が共催で実施しています。

かけがえのないみどりを守り、増やし、豊かな環境を後世に残し、魅力的な街づくりを進めるためには、駅前や企業の敷地、公共施設の周辺などのセミパブリック空間を街並みと調和した花や緑あふれる美しい景観として創造し、さらにそれを実現するため取り組まれている多くの人々が笑顔でつながることが大切です。

本賞で、みどりのまちづくりに貢献する「まちが美しくなるみどりづくり」「まちが笑顔になるみどりづくり」を取り組まれた方々を表彰し、みどりへの理解が進み、美しい大阪のまちづくりに寄与できることを願っています。

※セミパブリック空間：民有地において公益的な利用を図る空間の概念のこと

対象

大阪府内における、みどりの景観づくり及び活動を募集します。個人、団体、企業、公共、あらゆる方面からの募集を対象とします。

応募部門

- ランドスケープデザイン部門
-まちが美しくなるみどりづくり
- ランドスケープマネジメント（管理運営・活動）部門
-まちが笑顔になるみどりづくり

審査方法

主催者がみどりのまちづくり賞審査委員会を設置し、学識者を中心とした審査委員による書類審査、現地審査ならびに審査会を実施し、選考を行っています。

審査委員長：増田 昇 (大阪府立大学名誉教授・農学博士)
審査委員：當内 匠 ((株)庭樹園 代表取締役)
弘本 由香里 (大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 特任研究員)
仲 隆裕 (京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科 教授)
井原 緑 (奈良県立大学地域創造学部地域創造学科 教授)
松本 邦彦 (大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 助教)

全体講評

昨年度は、新型コロナ感染症の蔓延により中止となりましたが、本年は再開でき、お陰様でちょうど10年目の節目を迎えます。

コロナ禍の中での再開となりましたが、幸いなことにランドスケープデザイン部門は21作品の応募がありましたが、活動が中心となるマネジメント部門は影響を受け、残念ながら5件の応募に留まりました。

1次審査は現地写真を含む書類審査を実施し、デザイン部門は10作品、マネジメント部門は2件を2次審査の対象として選出しました。2次審査は通常現地審査を実施して行いますが、本年は緊急事態宣言が発出されており、デザイン部門は現地の状況がより詳細に把握できるようスタッフが極力客観的に撮影した動画を用い、マネジメント部門は活動に関するより詳細な補足資料を提出して実施しました。

その結果、デザイン部門は知事賞、協会長賞、支部長賞の3賞がそれぞれ1作品、奨励賞が3作品選出され、マネジメント部門は奨励賞は無く、知事賞と協会長賞それぞれ1件ずつ選出されました。

デザイン部門では、南北に細長い都市公園「松原公園」で歴史的情緒を表す高槻市のシンボルとなる風景、明治期半ばから大正期にかけて造営されてきた「藤田美術館の庭園」をより深く周辺の公園と一緒にするように改修された風景、「緑のざぶとん」と称した「東大阪市文化創造館」前の街角広場を創出した風景がそれぞれ3賞選出され、家主の庭を活用した「Keyakinomori」、吹田操作場跡地に建設された「健都レールサイド公園」、商店街に面したリバーベーション施設「大正通りポケット」がそれぞれ奨励賞に選出されました。

マネジメント部門では、大阪府から奈良県にまたがる竹内街道沿道に整備された「緑の一里塚」を活動の場とする「街道沿道の緑の一里塚設置」の取り組みと、公園管理運営を担う企業と地域の緑のNPOによって取り組まれている「市民の森（鏡伝池緑地）」をそれぞれ選出しました。

本年は新型コロナ感染症蔓延の影響で現地審査を実施することが出来ず、動画や資料での選考の難しさを痛感しました。それというのも、やはりランドスケープは、単に視覚的な情報や機能に関わる情報だけで捉えられたり、感知しているのではなく、五感とともに総覚も含め、体全体で感知し、捉えられるものであるからです。お陰様で、このことを再認識できる格好の機会となりました。

審査委員長 増田 昇